

⚠ 警告	
 火災・感電・発熱・発火によりやけどや大けがの原因となる可能性があります。	
 自動車やバイク、自転車などの運転中に本機を使用しないでください。交通事故の原因になります。	 踏切や横断歩道、駅のホームなど周囲の音が聞こえないと危険な場所で使用しないでください。本機の音量を上げると周囲の音が聞こえにくくなり、事故や怪我の原因になります。
 充電ケース内部に水や異物を入れないでください。充電ケースは防水ではありません。水や異物が入った場合、火災や感電の原因になります。万が一、水や異物が入った場合は、直ちに使用を中止してください。また、充電ケースの端子部に異物が付着すると発熱や火災の原因となりますので、定期的に異物の付着が無いかをご確認ください。	 本機を布団などで覆った状態で充電しないでください。熱が籠もることで異常な発熱を起こし、火災の原因になることがあります。
⚠ 注意	
怪我や周囲の家財に損害を与える可能性があります。	
 子供や監督を必要とする方などの手の届くところには置かないでください。本機は磁石及び電池を使用しています。小さな部品を飲み込むと窒息の危険性や内臓を傷つけるなど深刻な症状を引き起こす恐れがあります。	 イヤーピースはしっかりと取り付けてください。イヤーピースがしっかりと取り付けられていない場合、使用中に外れて耳道内に残る場合があります。
 医療機関内や医療機器を使用している方の近くで使わないでください。ペースメーカーなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。	 大音量で長時間聴かないでください。長期にわたる過剰な音量での使用は永久的な難聴を招く恐れがあります。80 dB (A) の音量で40時間/週、89 dB (A) の音量で5時間/週を超えないようにしてください。
 本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従ってください。電波が影響することで、事故の原因になる恐れがあります。	

問題点	原因	対処法
イヤホンの電源がONにならない	(ご購入直後の場合) 電池残量が少ない	内蔵バッテリーは、海外からの輸送の安全のため、法令に基づき工場出荷時にフル充電にすることができません。そのため、お客様が開封された際に動作に必要な電圧を下回ることがございます。ご使用前にフル充電してください。充電方法について詳しくは、P.21の「充電する」をご確認ください。
	イヤホンの電池切れ	イヤホンを充電ケースに入れてふたを閉めて充電してください。(充電ケースも充電切れの場合、まずは充電ケースを充電してください) 充電方法について詳しくは、P.21の「充電する」をご確認ください。
	タッチセンサーに十分な時間触れていない	タッチセンサーに電源がONになるまで触れ続けてください。電源をONにする方法について詳しくは、P.22の「電源をONする」をご確認ください。
イヤホンの電源がOFFにならない	誤操作のためエラーが発生している	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.28の「リセット方法について」をご確認ください。
	タッチセンサーに十分な時間触れていない	タッチセンサーに電源がOFFになるまで触れ続けてください。電源をOFFにする方法について詳しくは、P.23の「電源をOFFする」をご確認ください。
	タッチ操作無効モードになっている	タッチ操作無効モード中は「タッチ操作無効モード切り替え」以外のタッチ操作が無効になります。この場合、どちらか片側のタッチセンサーを5回タップしてノーマルモードに切り替えてから手で電源OFFにするか、イヤホンを充電ケースに収納してふたを閉めてください。タッチ操作無効モードについて詳しくはP.27の「タッチ操作無効モードについて」をご確認ください。

故障かな?と思ったら

問題点	原因	対処法
イヤホンの電源がOFFにならない	(充電ケースにイヤホンを入れても、イヤホンの電源がOFFにならない場合) 充電ケースの電池残量が少ない	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになりますが、OFFにならない場合、充電ケース自体の電池残量が十分でない場合がございます。充電ケースを充電した後に、再度お試しください。充電方法については、P.21の「充電する」をご確認ください。
	(充電ケースにイヤホンを入れても、イヤホンの電源がOFFにならない場合) 付属品以外のイヤークラスを使用している	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、付属品以外のイヤークラスをご使用の場合、充電ケースに干渉して充電が満足にできず、電源がOFFにならない場合がございます。付属品のイヤークラスで正常に動作するかご確認ください。
イヤホンが充電できない	イヤホンの金属接点 が充電ケースのピンと 接触していない	左右のイヤホンに絶縁シールが貼られている場合は剥がしてください。また、金属接点と充電ケースのピンとの接触具合が十分であることをご確認ください。
	充電ケースの 電池残量が少ない	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、開始されない場合、充電ケース自体の電池残量が十分でない場合がございます。充電ケースを充電した後に、再度お試しください。充電方法について詳しくは、P.21の「充電する」をご確認ください。
	充電ケースのふたを 開けていない	充電ケースにイヤホンを収納した状態でふたが閉まっていない場合、イヤホンの充電が開始されません。充電ケースのふたがきちんと閉まっているかご確認ください。

故障かな?と思ったら

問題点	原因	対処法
イヤホンが充電できない	付属品以外のイヤークラスを使用している	通常、電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めると、イヤホンの電源が自動でOFFになり、イヤホンの充電が開始されますが、付属品以外のイヤークラスをご使用の場合、充電ケースに干渉して充電が満足にできず、電源がOFFにならない場合がございます。付属品のイヤークラスで正常に動作するかご確認ください。
イヤホンの検索/ ペアリングが できない	イヤホンがペアリング 状態にならない	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.28の「リセット方法について」をご確認ください。
	(一度ペアリングを 行なった場合) 以前接続した機器に 自動的に接続されている	以前ペアリングされた機器のペアリング情報を削除してから、再度ペアリング操作を行なってください。
音楽再生中に 音(接続)が 途切れる	外的要因により干渉を 受け、接続状況に 影響が出ている	Bluetoothは、2.4GHzの帯域を使って通信を行なっております。この帯域は、Wi-Fiなどさまざまな無線規格で使われておりますので、それらの干渉を受ける可能性がございます。また、この2.4GHz帯は水分を貫通しません。湿度や雨天による影響や、人体も水分ですので、接続性に個人差がございます。さらにスマートフォン等の機器のスペックにも依存いたします。そのため、ご自宅では周囲の使用していないWi-Fi/Bluetoothの設定をOFFにする等が対策となります。外出中であれば、鞆の中のスマートフォン等の機器を胸ポケットに移動させる等、機器同士の距離を近づけることで接続状況が改善される可能性がございます。

故障かな?と思ったら

問題点	原因	対処法
片側しか音が出ない	左右間のイヤホンのペアリングが解除されている	リセット操作を行なうことで改善する場合がございます。リセット方法について詳しくは、P.28の「リセット方法について」をご確認ください。
	片側のイヤホンの電池が切れている	電池残量が十分な充電ケースにイヤホンを収納してふたを閉めてイヤホン本体を充電してください。充電方法について詳しくは、P.21の「充電する」をご確認ください。
イヤホンの片側だけ電池消費が早い	仕様上、片側が親機、もう一方が子機となり、左右間で負荷が異なる	Bluetoothイヤホンはその仕様上、一般的に片側が親機、もう一方が子機となっており、子機側のイヤホンは親機との通信のみ、親機側は子機との通信に加え、スマートフォン等の機器とも通信を行なっております。そのため、それぞれの負荷量が異なるため、電池消費にも差が生じる場合がございます。
充電に時間がかかる	充電に使用しているUSBアダプターの出力が低い	PC等のUSBポートをご使用いただいている場合、出力が低く、公称値よりも充電に時間がかかる場合がございます。そのため、本製品を充電される際は、5V/1AのUSBアダプターをご使用ください。
タッチセンサーが機能しない	タッチセンサー部に汚れ・水滴等が付着している	タッチセンサー部に汚れや水滴が付着している場合、タッチセンサーが正常に機能せず、イヤホンの操作ができない場合がございます。タッチセンサー部を乾いた柔らかい布で拭き、汚れや水滴を取り除いてください。
	タッチ操作無効モードになっている	タッチ操作無効モード中は「タッチ操作無効モード切り替え」以外のタッチ操作が無効になります。この場合、どちらか片側のタッチセンサーを5回タップしてノーマルモードに切り替えるか、イヤホンを充電ケースに収納して再起動してください。タッチ操作無効モードについて詳しくはP.27の「タッチ操作無効モードについて」をご確認ください。

故障かな?と思ったら

問題点	原因	対処法
音声ガイダンスが再生されない	タッチ操作無効モードになっている	タッチ操作無効モード中は音声ガイダンスや効果音が再生されなくなります。この場合、どちらか片側のタッチセンサーを5回タップしてノーマルモードに切り替えるか、イヤホンを充電ケースに収納して再起動してください。タッチ操作無効モードについて詳しくはP.27の「タッチ操作無効モードについて」をご確認ください。
イヤホンのLEDインジケータが点灯/点滅しない	タッチ操作無効モードになっている	タッチ操作無効モード中はイヤホンのLEDインジケータが点灯/点滅しなくなります。この場合、どちらか片側のタッチセンサーを5回タップしてノーマルモードに切り替えるか、イヤホンを充電ケースに収納して再起動してください。タッチ操作無効モードについて詳しくはP.27の「タッチ操作無効モードについて」をご確認ください。
片耳使用時にモノラル再生にならない	aptXで接続している	本製品は「SBC/AAC/aptX」に対応していますが、aptXで接続している場合、片耳モード使用時はモノラル再生になりません。片耳モード使用時にモノラル再生にするには、接続コーデックをSBCもしくはAACに切り替えたうえでご使用ください。

メンテナンス

ダストフィルターに付着したゴミは、爪楊枝の先端にゴミを付着させるかたちでやさしく取り除いてください。内部にゴミが落下しないように、気を付けて作業してください。

保証とアフターサービス

本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間中は以下の保証規定に基づき修理いたします。保証はご購入いただいた国でのみ有効です。修理のお申込みは弊社WEBサイト「修理・サポート」ページの「修理申込みフォーム」より行なってください。居住国以外の国でご購入の場合や保証期間後のサポートについては、「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。

1. 保証期間内に、取扱説明書に記載の警告、注意書きに従った使用状態で故障した場合には、無償修理させていただきます。
2. 保証期間内でも次の場合には、有償で修理させていただきます。
 - (1) レシート等、購入日を証明するものをご提示いただけない場合。
 - (2) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者やお客様により改造、分解、修理がなされた場合。
 - (3) 強い衝撃を与えたり、水に濡らした場合。無理な力がかかるような状況下で起こった故障。
 - (4) 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異などによる故障、人災による故障、盗難、ウイルス感染による故障。
 - (5) 筐体表面の傷の修理、筐体自体の修理。
3. 本製品のご使用により、お客様に生じた損害については、弊社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、弊社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

片耳紛失された場合：

保証期間内に、万が一片耳を紛失された場合は、弊社WEBサイトにて片耳のみの購入が可能です。購入申込みの際には充電ケースと、残ったもう片側をお送りいただき、新品1セットと有償で交換となります。詳しくは弊社WEBサイトの「修理・サポート」ページをご確認ください。

※製品が生産終了となった場合は、片耳購入サービスを予告なく終了する場合がございます。予めご了承ください。

本機を廃棄するときは

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、各地方自治体の指示に従ってください。また、弊社WEBサイト「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」からもご相談を受け付けています。

お問い合わせ

弊社WEBサイト画面下部のチャットアイコンより「よくあるご質問」をご参照いただくか、「CONTACT」ページの「お問い合わせフォーム」よりお問い合わせください。



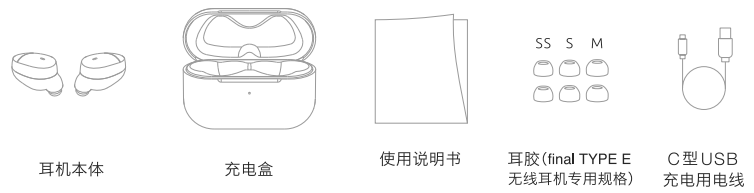
https://final-inc.com/pages/lang-contact_ag

製造：株式会社 final

※仕様変更の可能性がありますので、最新の取扱説明書は下記QRをスキャンしてご確認ください。



https://final-inc.com/pages/lang-download-cotsubu-mk2_ag



各部位名称

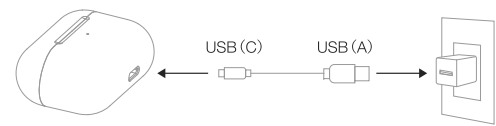


使用前请留意

左右的耳机从充电盒取出后，请将耳机上的粘贴的绝缘贴纸取下后再使用。

充电方式

对充电盒进行充电：
将配件的充电用电线 USB-C 型连接头与充电盒上的 USB-C 型插槽接上，然后再将电线另一端的 USB-A 型连接头与含 USB-A 型插槽的充电器或转换器连接后，即可为充电盒内的电池进行充电。充电中充电盒的 LED 指示灯会随着电池的电量如下表显示。

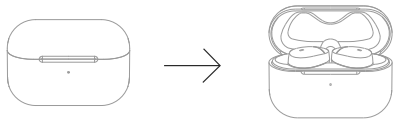


電池残量	充电盒的LED 指示灯
0 ～ 10 %	黄色的LED 灯缓慢的闪烁
11 ～ 99 %	绿色的LED 灯缓慢的闪烁
100 %	绿色的LED 灯恒亮

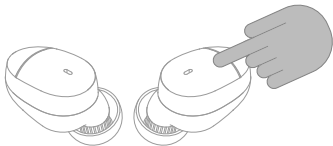
对耳机进行充电：
将本机置入充电盒中并阖上盖子后，开始进行充电。充电盒的LED 指示灯显示方式会随电池的电量如下表显示。
※如果充电盒的LED 指示灯呈现黄灯 (电池残量剩10%以下) 缓慢闪烁的情况，请尽早进行充电。

電池残量	充电盒的LED 指示灯
0 ～ 10 %	维持黄色的LED 灯约2秒
11 ～ 100 %	维持绿色的LED 灯约2秒

启动耳机



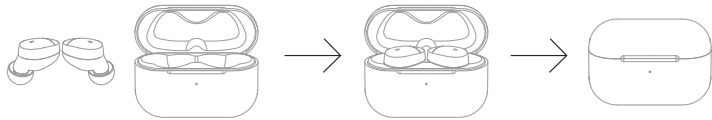
充电后将充电盒的盖子打开，耳机本体电源会自动开启。耳机启动后耳机上的红色 LED 指示灯将持续约 3 秒。(在耳机充满电的情况下，耳机的绿色 LED 指示灯会亮约 1 秒后变成红灯并维持约 3 秒。) 充电盒的 LED 指示灯显示方式会随电池的电量如下表显示。



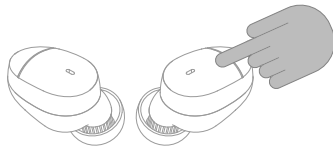
电源关闭的情况下，触碰一下触控感知面板后电源随即会被开启。

電池残量	充电盒的LED指示灯
0 ～ 10 %	维持黄色的LED灯约10秒
11 ～ 100 %	维持绿色的LED灯约10秒

关闭耳机



充电盒的电池残量足够的情况下，将耳机本体放回充电盒中并阖上盖子，电源就会自动被关上并开始进行充电。充电盒的 LED 指示灯显示方式会随电池的电量如下表显示。

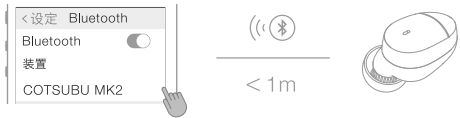


触控感知面板持续触碰维持约3秒后，电源将会随着2种电子音效的响起而被关闭。

電池残量	充电盒的LED指示灯
0 ～ 10 %	维持黄色的LED灯约2秒
11 ～ 100 %	维持绿色的LED灯约2秒

进行连线配对

手边的智能手机或其它待连线机器在初次连线状况下需要连线配对。下次当耳机电源启动时，耳机会自动与先前已连线机器自动进行连线。



初次使用本机时：

1. 打开充电盒的盖子会自动开启耳机本体的电源。耳机启动时，LED 指示灯会呈现约 3 秒的红灯并切换成连线配对模式。此时，任一单边的耳机 LED 指示灯会呈现绿色、红色交替闪烁的情况。
2. 开启智能手机或待接机器的蓝牙功能，从选单中选取「COTSUBU MK2」的名称选项。待接机器画面中显示「COTSUBU MK2 已连接」※表示配对成功。

连线配对重置时・第 2 台机器进行连线配对的情况：

1. 对新的智能手机或其它设备进行配对前，请切断先前已经完成配对的智能手机等设备的连接，或关闭已经配对完成设备的蓝牙功能。此时，本机切换成配对模式（任一单边耳机的橙色，白色 LED 会交替闪烁）。

2. 打开想要连接的智能手机等设备的蓝牙功能，并进行配对。

※因智能手机等机器种类的不同，所表示内容也会有所差异。

触控感知面板操作

		L	R
音乐	播放	触碰 1 下	
	暂停	触碰 1 下	
	下一曲	—	持续触碰直到提示音响起
	返回歌曲开头或转到上一首歌曲※1	持续触碰直到提示音响起	—
	音量上升	触碰 2 下	—
	音量下降	—	触碰 2 下
来电	接听来电	触碰 1 下	
	结束通话	触碰 1 下或将 L/R 两边的耳机都放回充电盒中	
	拒接来电	触碰 2 下	
Siri/ Google アシスタント	启动※2	触碰 2 下 (只在音乐停止播放的状态下)	
触控操作无效模式切换		触碰 5 下	

※1：歌曲开始之前立即操作可返回到上一首歌曲，在歌曲播放时操作可返回到该歌曲的开头。歌曲播放时要回到的上一首歌曲的情况，请连续操作两次。

※2：根据所连接的设备，有无法正常运作的可能。

关于单耳模式

播放视频或音乐时，只需将一只耳机放回盒中，它就会自动切换到「单耳模式」，而不会中断播放。
使用「单耳模式」时，立体声播放会切换为单声道播放※，因此用一只耳朵聆听时不会有任何不适。
※单声道播放是一种从一个扬声器播放左右声音的方法。仅当通过 SBC/AAC 连接时才支援单声道播放。

关于触控操作无效模式

将耳机主体从充电盒中取出后，碰触任一单边耳机上的触控感知面板 5 次后可在「触控操作无效模式」之间切换。这个模式开启时，除了 5 次碰触模式切换以外的操作都将被停止，电池电量低时的音效、电源关闭时的语音导引等都不会播放，并且耳机上的 LED 指示灯不会亮起 / 闪烁。
※如果在触控操作无效模式下关闭电源，下次启动时会自动切换到普通模式。
※由于在触控操作无效模式下触控感知面板的操作被停止，因此在接听来电时无法在耳机进行接听操作。
如果您想在耳机端操作，请点击 5 次切换到普通模式，或者使用智能手机或其他设备端进行接听操作。

重置方法

连线配对不顺利时，有无法预期的不良情况发生或无法正常操作的情况下，请照以下方式重置耳机本体。
成功重置后，请再次尝试进行连线配对。

1. 将左右无线蓝牙耳机置入电池残余量足够的充电盒中，同时触碰两边耳机的触控感知面板维持约 10 秒以上，直到 LED 指示灯熄灭后绿灯信号亮起为止时分开。
2. 一定时间后会自动切换成与智能手机或待连接线机器进行连线配对模式。单边耳机的 LED 指示灯会呈现绿色及红色交互闪烁的状态。表示重置作业已经完成。
3. 重置完成后还原为工场出厂状态，同时先前耳机端写入的智能手机等机器的配对资讯也会被削除。因此在智能手机等机器与本机的配对资讯确认消除后，请再度尝试重新配对。

为了能安全使用该产品，请确认重要的注意事项及其标示。务必在使用前详细阅读。

	该标示的注意事项不严格遵守，使用者有可能造成危及生命或招致严重伤害的危险。
	该标示的注意事项不严格遵守，有可能危及生命或招致严重伤害的原因。
	该标示的注意事项不严格遵守，使用者可能招致伤害，甚至造成周遭事物毁损的可能性。

 危险	
 火灾  触电 可能导致火灾，触电，发热，自燃，液体渗漏，破裂，误食所造成的危及生命或失明，甚至是招致严重伤害的原因。	
 禁止 请勿在湿度高或尘埃多的环境下，日光直射的场所，车厢内等高温场所中使用，保管或放置。可能成为产品本身异常发热或液体渗漏，破裂的原因。	 禁止 在潮湿的情况下请勿使用充电盒及 USB 充电线。恐因短路造成异常加热或故障的原因。
 禁止 请勿使用产品附属外的 USB 充电线。恐因破裂或电池液体渗漏，发热，造成火灾或人员招致伤害，周遭污染损毁的原因。	 禁止 请勿置入火中。恐因电池液体渗漏或破裂，造成人员招致伤害或周遭污染损毁的原因。
 禁止 请勿使用大供电量 20W 超过的急速充电器进行充电。恐因破裂或电池液体渗漏，发热，造成火灾及人员招致伤害，周遭的污染损毁的原因。	 分解禁止 请勿自行进行分解。往往为造成故障的原因。
	 禁止 从耳机本体或充电盒里有液体渗漏的情况，或产生异臭，发热等情况，请立即中止使用，请勿触碰渗漏的液体。此外附近有火气或易燃物时请尽速将其远离该场所以策安全。

 警告	
 火灾  触电 可能导致火灾，触电，发热，自燃的原因，进而造成烫伤或招致严重伤害。	
 禁止 驾驶汽车，自行车等情况下请勿使用本机。恐导致交通事故的原因。	 禁止 因周遭环境声音听不见而容易造成危险的地方请勿使用。提高耳机的音量将使周围的声音难以听见。另外，本设备配备了降噪模式，可能会使警报声等难以听见，这可能导致意外或造成伤害。
 禁止 请勿将液体或异物置入充电盒内。充电盒本身不防水。液体或异物置入后，恐引起火灾，触电的原因。万一有水或异物进到充电盒内部时，请立即停止使用。另外，充电盒的充电插槽处有异物时恐造成发热或火灾的原因，请定期确认有无异物附着。	 禁止 本机充电时请勿覆盖在毛巾或被单下。在不通风的环境，无法顺利散热等原因导致异常发热，甚至造成火灾。
 注意	
可能导致受伤或周遭财产损害的可能性。	
 禁止 请勿将产品置于孩童或需受成人监护的朋友容易取得的位置。本机使用了磁石及电池等材料。恐造成小零件被误食引起窒息的危险或使得内脏受伤害等情况发生。	 注意 耳塞请务必必要确实装置。耳塞没有确实装置，恐造成使用中耳机脱落耳塞仍留在耳道内的情况。
 禁止 医疗机关内或医疗器材使用中请勿靠近使用。恐对心律调节器等医疗器材造成影响。	 禁止 请勿长时间大音量的使用耳机。长时间大音量的使用恐造成听力受损的原因。80db(A) 的音量每周请勿超过 40 小时以上，89db(A) 的音量每周请勿超过 5 小时以上的使用时间。
 指示 本机在飞机机舱内使用时，请遵照机上空服人员的指示下进行使用。对通讯电波造成影响，恐导致事故发生的原因。	

状况	原因	对应方式
耳机电源无法开启	(产品购入第一次使用时) 产品内含电量不足	内置电池的产品,为了确保海外运输上的安全性,基于法条规定,不能在满电的状态下进行运送。为此,在开封产品时,产品内电池电量有可能会低于产品动作所需。使用前如果先将产品充满电后再使用,则有可能让该问题得以解决。关于充电方式,请参阅使用说明书第39页的「充电方式」内容。
	耳机电池没电	请将耳机放入充电盒中并阖上盖子进行充电。(充电盒电量用尽的情况,请先将充电盒充电。)关于充电方式,请参阅使用说明书第39页的「充电方式」内容。
	对触控感知面板的触碰时间不够	请触碰触控感知面板直到电源确实开启为止。关于电源的开启方式,请参阅使用说明书第40页的「启动耳机」内容。
耳机电源无法关闭	操作错误所引发的故障情况	有可能经由进行重置设定使问题得以改善。关于重置设定的方法,请参阅使用说明书第45页「重置方法」的内容。
	触控操作无效模式状态	在触控操作无效模式期间,无法操作「触控操作无效模式切换」以外的触控设定。在这种情况下,请点击两侧的触控面板5下以切换到普通模式,然后手动关闭电源,并将耳机放入充电盒中并合上盖子。有关触控操作无效模式的详细信息,请参阅第45页的「关于触控操作无效模式」内容。
	(即便是将耳机放入充电盒中,耳机电源仍保持开启的情况) 充电盒的电池电量不足	正常来说,将耳机收入电量足够的充电盒中并阖上盖子,耳机的电源会自动关闭,无法顺利关闭的情况,有可能是因为充电盒的电量不足的关系。请将充电盒充电之后,再度尝试向耳机进行充电。关于充电方法,请参阅使用说明书第39页的「充电方式」内容。
	(即便是将耳机放入充电盒中,耳机电源仍保持开启的情况)使用本产品配件以外的耳胶	正常来说,将耳机收入电量足够的充电盒中,将盖子阖上,耳机就会开始充电,使用本产品附属品以外的耳胶时,充电盒的充电功能可能会受到干扰,有可能造成充电不足的情况。请更换成本产品附属的耳胶后,再确认是否能正常充电。

状况	原因	对应方式
耳机无法充电	耳机的金属充电端子与充电盒中的充电顶针没有接触	若左右耳机上的绝缘贴纸仍贴在机体上,请取下后使用。此外,请确认耳机金属充电端子与充电盒中的充电顶针接触情况是否吻合。
	充电盒的电池电量不足	正常来说,将耳机收入电量足够的充电盒中,并阖上盖子,耳机会自动关闭,并开始充电,无法顺利开始充电的情况,有可能是因为充电盒电池电量不足的关系。请将充电盒充电之后,再度尝试向耳机进行充电。关于充电方法,请参阅使用说明书第39页的「充电方式」内容。
	使用本产品配件以外的耳胶	正常来说,将耳机放入电量足够的充电盒中,并阖上盖子,耳机会自动关闭,并开始充电,使用本产品附属品以外的耳胶时,充电盒的充电功能可能会受到干扰,有可能造成充电不足的情况。请更换成本产品附属的耳胶后,再确认是否能正常充电。
耳机无法充电	充电盒的盖子不能阖上	充电盒里耳机置入中的状态下盖子无法阖上的情况下,不能顺利充电。请确认充电盒的盖子是否完整阖上。
耳机无法 正常被搜寻/ 无法连线配对	耳机无法连线配对	有可能经由重置设定使问题得以改善。关于重置设定的方法,请参阅使用说明书第45页「重置方法」的内容。
	(经过一次连线配对后) 与先前成功连线配对的机器自行连线	请将机器中先前成功连线配对的资料消除后,再度进行连线配对。
音乐播放中 讯号接收不良	受到外在因素的干扰, 导至影响讯讯品质	本机的蓝牙通信设定所使用的频道是在2.4GHz。该频道广为Wi-Fi及许多无线产品使用,可能造成频道中各机器讯号间相互的干扰。2.4GHz频道无法穿透水分,会因湿度或雨天等情形下受到影响,另外人体中也富含水分,信号接受能力也会因人而异。再者讯号接收也仰赖智能手机等机器的晶片性能。因此在自家环境下,可以尝试将周围未使用的Wi-Fi/蓝牙等设定关闭。在外出的情况下,将包中的智能手机移动到胸前的口袋等位置,可能经由缩短机器间的距离,而改善讯讯的情况。